

第4回美里町立小学校統合準備委員会概要録

招 集 期 日	令和6年10月31日（木曜日）
招 集 場 所	美里町役場 2階 201会議室
開 会 閉 会	開会 午後2時30分 閉会 午後3時30分
出 席 委 員	田端恵美子（委員長）、横関 賢治（副委員長）、 櫻沢 克幸、新井 英行、 岡本 一雄、櫻井 重美、 塩谷 裕之、岩片 利彦、北野 政行、 谷藤 祐紀、野澤 諭志、久保田 恵、久保田優子、 志村 弘人、門倉 正人
欠 席 委 員	深町 元秀、大澤 伸一、高田 真清
説明のために出席した者	教 育 長 南 幹生、事務局長 坂井 智也 指導主事 神部 太輔、指導主事 熊谷 青士 係 長 新井 大樹、主 任 田中 健人
傍 聴 人	0人

次第	内容	
1 開会	事務局 (局長)	定刻となったので開会する。 本日の会議の進行は事務局長が行う。
2 あいさつ	教育長	第3回の箕輪小学校視察では、安全面や学習環境の配慮、森林の大切さを学ぶ木育の狙いもある木造校舎に感銘を受けた。 視察で感じたことも含め、意見書の作成について協議をお願いしたい。
事務連絡	係長	第3回概要録については委員から署名いただき承認済み。 第2回概要録と併せて配布している。
3 議事	事務局	議事進行は委員長が行う。
議事（1）	委員長	議事（1）美里町立小学校統合準備委員会報告書（案）について、事務局から説明させる。
	事務局	【資料】をもとに説明する。
	委員長	挙手で質疑を受け付ける。
	委員	令和2年美里町立小学校適正規模等検討委員会の答申では「学校を1つにする時期については、令和15年頃まで望ましい。」とあるが、統合新校の開校時期として「令和11年4月1日が望ましい」と開校時期が変わった経緯について確認したい。

	事務局	適正規模等検討委員会の「令和 15 年頃まで」という答申を受けた後、議会や住民アンケート、住民説明会を開いた際に「なるべく早く統合を進めてほしい」とのご意見を多くいただきました。今回の準備委員会で承認いただけた統合新校舎の規模等を踏まえて、事務局として最短で可能であろうスケジュールが令和 11 年 4 月 1 日と考えている。
	委員	新たに建設する校舎に普通教室を 10 教室程度とあるが、平米数や平屋建て・何階建てなど規模感がイメージしにくいので、現在の美里中学校換算でどの程度のものが概ねのイメージを示してほしい。
	事務局	平米数や構造、工事の順番については、今後の設計・施工を一括で行う「デザインビルド」方式を通して、建築のプロである民間事業者を検討・提案していただく考えであり、現時点では明確にしていない。参考情報として、美里中学校は 1 フロアが約 1, 830 平米、3 階建てなので概ね 5, 490 平米となる。これには廊下や校長室職員室特別教室といった共用部分が含まれる。フロアごとの南側に普通教室を設置しており、教室 1 室あたり 74. 62 平米である。10 教室であれば、単純計算で 750 平米ほどが教室エリアとして必要となると思われ、これ以外にも共用部が発生する。現時点で明確な数字を出すのは控えたいが、中学校の 1 フロア程度が必要となる見込みだと思う。
	委員	新設する体育館は、大規模な 2 階建ての体育館 1 棟でもいいと思うが、なぜ 2 棟別々に建てるのか。
	事務局	事務局としては、災害時の避難所となることを見越して、別々の場所に建てたほうがよいと考えているが、デザインビルドの提案の中で「大きな体育館 1 棟で災害対応や学校行事を賄える」ということがわかれば、棟数の変更という可能性もある。
	委員	現在の中学校敷地内に新たな建物を建てて、

		古い建物を壊して、空いた土地に新たな建物を建てて……となると、工期的にかなり長くなると思う。統合をした後にも建物内の細々とした工事があるのか。
事務局		統合に係る工事については、現段階では令和11年4月1日の前には工事は全て完了しているという想定スケジュールでいる。いくつかの業者と打合せ・調整をしており、工期的には可能という話をいただいている。また、国の補助金を申請するうえでも、建設の工期がオーバーすると補助対象外になってしまうので、ここに収める必要がある。デザインビルド方式であれば、スムーズに工事を進められると考えられる。確かに2年という工期は難しい可能性もあるが、現時点の目標として設定させていただき、令和11年4月の開校を目指したいと考えている。
委員		プロポーザルのプレゼンは、何社に頼むのか。町が調整している業者一社の決め打ちなのか。
事務局		詳細は未定だが、入札参加資格ほか資格要件を設けたうえで、条件をクリアするかであればどなたでも参加できる形式を想定している。
委員		新築する校舎は木造で行くのか、鉄筋コンクリート造りの内装木質化とするのか。使用する木材の率なども目標値があるのか。衛生面の観点から心配の声も上がる可能性がある。
事務局		基本的には、学校の建設について、町産の木材を使った木造校舎という指示が出ている。木材調達の課題もあるので、100%木造と内装のみ木質化の両面で検討が必要かと思う。先進地視察でも、維持管理コストが気になったことは、執行部にも伝えてある。木材の使用割合については、町長からは特に指示を受けていないので、今後確認して検討していきたい。衛生面での課題については、建設検討委員会

		などでご意見をいただければ、汚れにくい素材を採用する等の可能性がある。壁面などの劣化については、日頃のメンテナンスや丁寧な使用を続けていくことが重要だと思うので、検討に含めていきたい。ただし、過大な設備投資は国庫補助金の対象とならないので、バランスとっていきたい。
	委員	体育館を避難所として使う想定だと思うが、体育館トイレは生徒が使うためのトイレであり、避難所となった際の何百人もの使用には耐えられないのではないか。
	委員	他の市町の避難所は、避難所対応する市町の機能を活かすため、耐震補強や免振補強を取入れていると聞いた。発電機なども設置しているとのことだった。
	事務局	学校の規模によって建てられる建物の規模に決まりがあるため、トイレについても、国庫補助の対象範囲内で検討していきたい。 避難所・災害の規模にもよるが、カバーできないところは仮設トイレの設置を念頭に、災害対策を所管している町長部局の総務課が検討・対応する。 今回のご意見も総務課には共有しておく。
	委員	建設検討委員会を作るとのことだが、どのような規模を想定しているのか確認したい。 また、建設検討委員会設置時には、専門家が一人二人いてもらいたい。素人では、判断が難しい。
	事務局	委員会のメンバーは今回と同じようなメンバーを想定している。プロポーザルにも参加してほしい。 建設委員会の設置に際しては、専門家への委員委嘱についても検討していく。
	委員	令和2年度の適正規模検討の頃から、学校訪問や視察を重ねて、早期の統合を町や教育委員会にお願いしてきて、今回、令和11年4月1日ということが提示された。 この準備委員会でも委員の皆様と意見交換する中で、やはり『児童生徒を良い環境に入

		れること』が大前提だと感じた。 利用価値のあるスクールバスの検討も必要となってくる。建設検討委員会の立ち上げ、早い統合校の環境整備をお願いしたい。県内でもいくつかの市町では、統合事業の話し合いでストップしてしまっていると聞いている。大規模なところは調整がむずかしくまとまりにくいと思うが、美里町のような小規模な自治体はまとまりやすいと思う。
	事務局	住民説明会やアンケート、議会議員からの要望をいただき、事務局としても「なるべく早く」という認識している。 今年度、この準備委員会の立ち上げ、具体的にどう進めるかというところを承認いただいたので、特に支障等がなければ今回のスケジュールで、令和11年4月1日開校を目標に進めさせていただきたい。
	委員	小学校の跡地利用についてはどう考えているか。
	事務局	跡地利用について、現時点で教育委員会としては検討を進めていない。教育委員会事務局以外の部局と使用方法を検討していく必要がある。おそらくだが、他の自治体が多く設置している「跡地利用検討委員会」等が立ち上げられ、そこで決めていくことになると思われる。
	委員	補足だが、町議会で町長は「数年間は、防災の施設に使えばいい」と発言していた。
	委員長	追加で質疑を受け付ける。 →質疑がないため、議事(1)は了承された。
議事(2)	委員長	議事(2)その他について、事務局から説明させる。
	事務局	概要録の署名について説明する。
	委員長	挙手で質疑を受け付ける。 →質疑がないため、議事(2)は了承された。
	事務局	本日の第4回会議を持ち、令和6年度美里町立小学校統合準備委員会を終了する。
4 閉会	事務局長	第4回美里町立小学校統合準備委員会を閉会する。

以上の内容は会議の顛末を記したもので相違ないことを証するため署名する。

令和 6 年 11 月 21 日

委員 岡本 一 雄

令和 6 年 11 月 22 日

委員 蘆谷 裕之